

ミスミグループ

2023年3月期 上期決算報告 と今後の取り組み

2022年10月28日
代表取締役社長
大野龍隆

22年度上期決算の概要

為替レート(対円)	FY21上期 実績	FY22上期 実績
USドル	110.2円	133.5円
ユーロ	131.0円	138.8円
人民元	17.0円	19.8円

目次

1. 22年度上期決算の概要	2
2. 22年度通期連結業績見通し	12

22年度上期市況と当社の取り組み

当初の見立て

中長期	旧来の自動車・携帯からEV、ロボット、半導体が主役に	---	不変
	グローバルサプライチェーンは各地域ブロック化が進展	---	不変
FY22	自動化需要は中国を始め各地域で中期的にも継続拡大	---	一時的減速
	半導体始め主要部材の供給難は今期後半まで継続	---	想定通り
	ウクライナ情勢、コロナ収束には楽観論の採用は困難	---	中国LD 影響甚大

これらの環境下、当社は

中長期	・最大の強み「 グローバル確実短納期 」を支える事業基盤を強化
	・ 地域別モデル革新 の加速と同時に、独自施策を継続推進
短期的	・LD中も生産・供給網を駆使し 確実短納期堅守 に尽力
	・コストアップの影響受けるも、 収益管理徹底・高収益性維持

22年度上期 決算概要

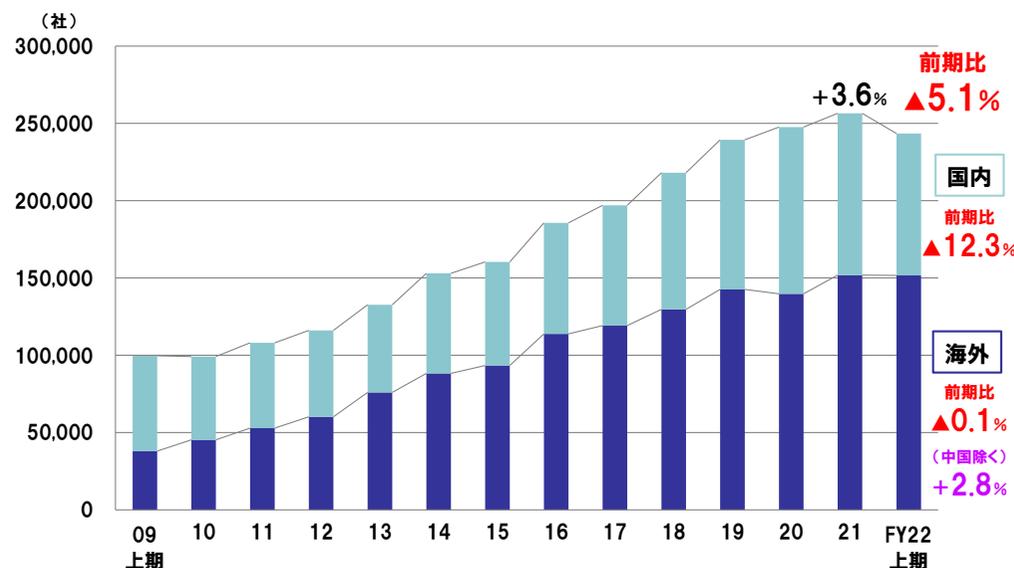
中国LDや部材不足長期化等の影響で日本・中国の需要減速
売上・利益ともに市況による影響大も、為替効果で前年増収

項目	FY21上期		FY22上期		
	実績	期初計画 (5/6)	実績	増減率	
				対前年	対計画
売上高	182,238	190,900	188,158	+3.2%	▲1.4%
営業利益	28,494	28,500	26,898	▲5.6%	▲5.6%
利益率	15.6%	14.9%	14.3%	▲1.3pt	▲0.6pt
経常利益	28,694	28,700	27,527	▲4.1%	▲4.1%
当期利益	20,831	20,900	20,240	▲2.8%	▲3.2%

4

顧客数推移(上期)

国内:昨年度取り組んだ収益改善策の影響で顧客減も想定範囲内
海外:LD影響を受けた中国を除き、増加継続



5

22年度上期 事業別売上高

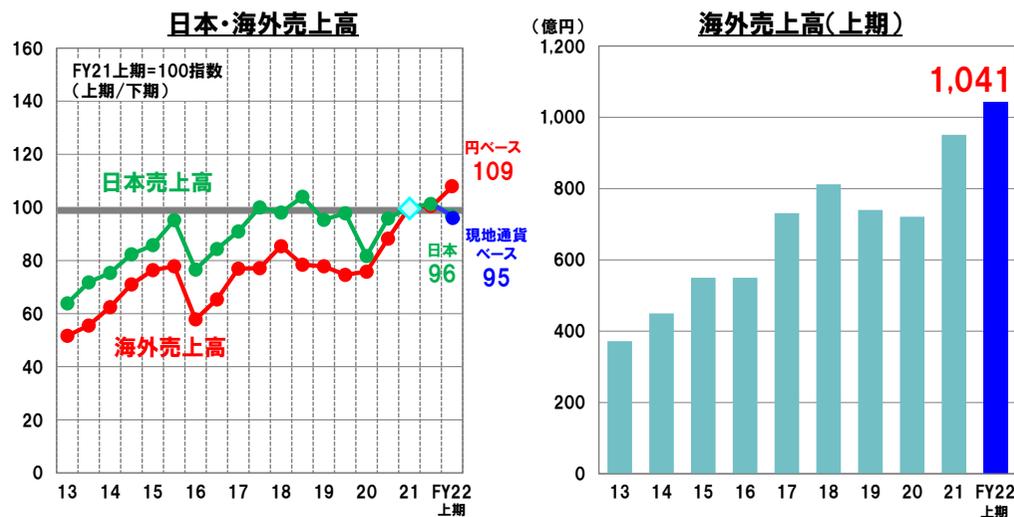
全事業とも需要減速の影響を受けるも、為替効果により増収確保
FA・VONA 亜・欧・米成長も、需要減速の日・中をカバーできず
金型部品 自動車関連の投資や稼働低下で日・中・亜弱含み

項目	FY21上期		FY22上期	
	実績	実績	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	182,238	188,158	+3.2%	▲4.1%
FA事業	59,073	61,415	+4.0%	▲3.2%
金型部品事業	37,515	39,900	+6.4%	▲5.1%
VONA事業	85,649	86,842	+1.4%	▲4.2%

6

22年度上期 日本・海外売上高

日本 自動車関連をはじめ中国LD影響から回復遅れ、低調に推移
海外 中国はLD・電力制限影響で減速も、その他地域は堅調
結果、海外比率は55.3%、前年比+3.1pt



7

22年度上期 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中国を除く亜では2次電池・半導体が牽引し成長継続
米・欧 旺盛なEV関連の新規需要を獲得、物流・医療も堅調



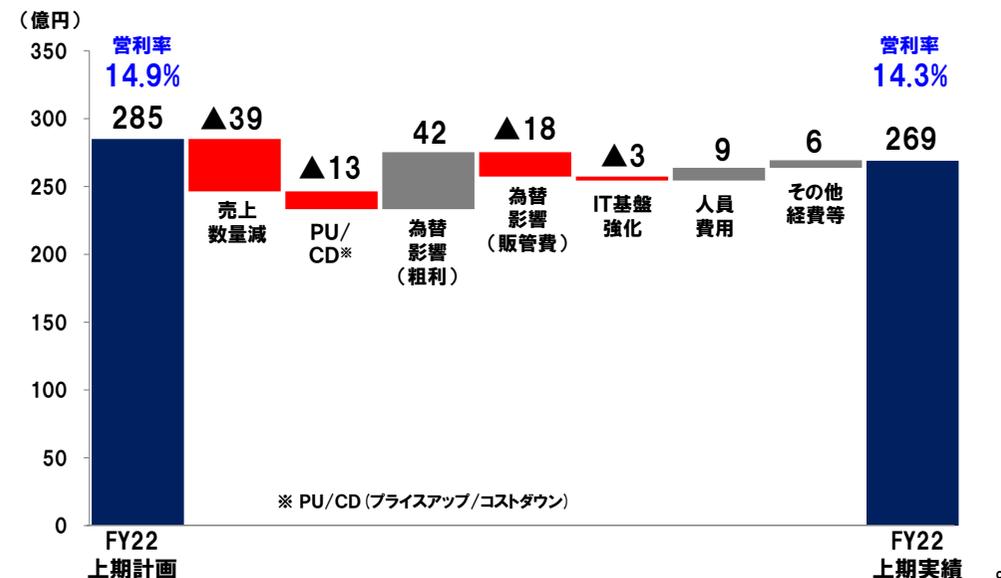
中国 99(85)
アジア 109(98)
()内は現地通貨ベース

為替レート(対円)	FY21上期 実績	FY22上期 実績
USドル	110.2円	133.5円
ユーロ	131.0円	138.8円
人民元	17.0円	19.8円

8

22年度上期 営業利益増減分析(計画比)

中国LD影響を受けた売上数量減の影響大、CU影響も一部受ける
為替効果・経費抑制で増益図るも計画未達、収益性は一定水準堅守



※ PU/CD (プライスアップ/コストダウン)

9

22年度上期 事業別営業利益

FA・VONA 日・中売上比高く、LDによる数量減が利益に大きく影響
金型部品 自動車関連のウエイト大きく、需要減により稼働低下

項目	FY21上期		FY22上期			
	実績	利益率	実績	利益率	対前年増減率	
					円ベース	現地通貨ベース
合計	28,494	15.6%	26,898	14.3%	▲5.6%	▲22.1%
FA事業	12,796	21.7%	12,241	19.9%	▲4.3%	▲19.5%
金型部品事業	5,091	13.6%	4,732	11.9%	▲7.1%	▲21.8%
VONA事業	10,606	12.4%	9,924	11.4%	▲6.4%	▲25.4%

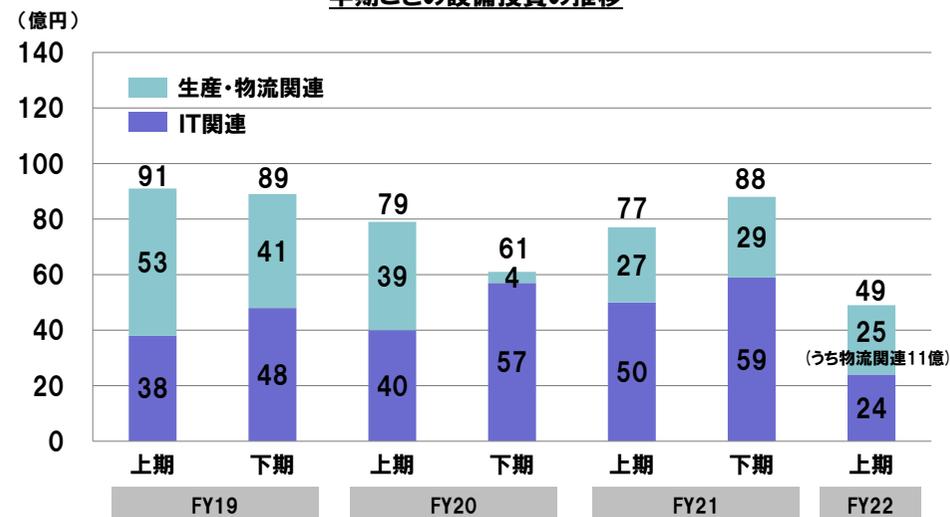
百万円

10

投資実績

ビジネスモデル革新に向けたIT基盤強化は積極的に展開
中国LD影響により、新物流拠点関連をはじめ一部の投資が遅延

半期ごとの設備投資の推移



11

22年度通期連結業績見通し

為替レート(対円)	FY21 実績	FY22 下期計画	FY22 通期計画
USドル	112.9円	141.0円	136.9円
ユーロ	131.0円	141.0円	139.8円
人民元	17.6円	20.0円	19.9円

12

22年度 今後の見立て

中長期的にインダストリアル・オートメーション産業における自動化需要の基調は不変も、**足元では不透明性が進行**

- ・ エネルギー・原材料等**インフレ**、**為替変動**による影響
- ・ グローバルでの**景気後退**リスク
- ・ 部材不足・部品調達難の**長期化**

当社は

- ・ ビジネス環境の不確実性に備え、「**攻め**」と「**守り**」の均衡を徹底
- ・ 成長性・収益性の高い地域/事業/サービスへの**集中を継続**
- ・ 事業基盤強化を継続し、「**確実短納期**」の磨き込みに注力

13

22年度 通期業績見通し

不透明性あるも独自施策・為替効果を考慮し、通期計画据え置き
昨年度取り組んだ収益改善が奏功し前年同水準の収益性を見込む

項目	百万円			
	FY21 実績	FY22 計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	366,160	403,500	+10.2%	+3.0%
営業利益	52,210	57,300	+9.7%	▲8.1%
利益率	14.3%	14.2%	▲0.1pt	▲1.5pt
経常利益	52,500	57,600	+9.7%	-
当期利益	37,557	42,000	+11.8%	-

14

22年度 事業別売上高見通し

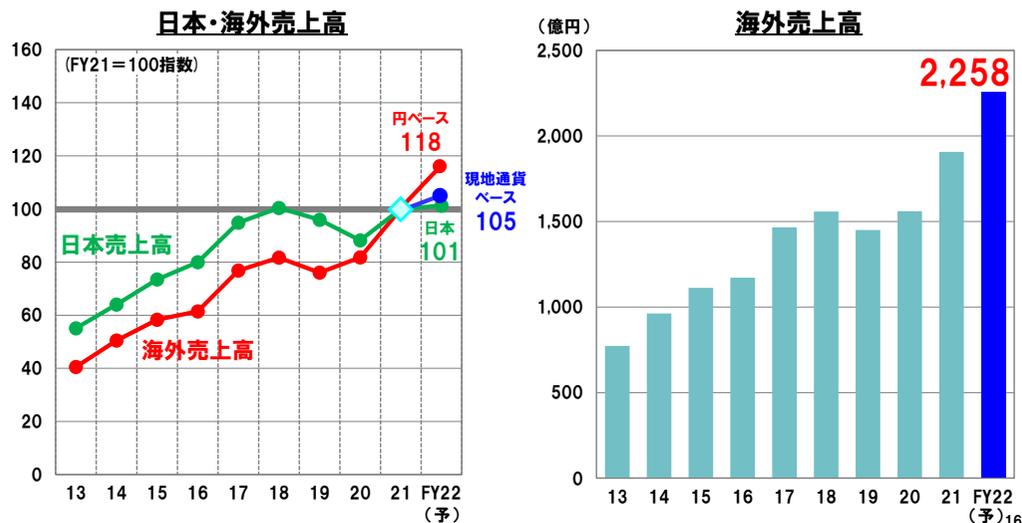
FA・VONA 品揃え・在庫の強化およびmeviy展開加速により成長
金型部品 EV需要堅調も自動車の稼働回復が本格的に至らず

項目	百万円			
	FY21 実績	FY22 計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	366,160	403,500	+10.2%	+3.0%
FA事業	119,253	135,495	+13.6%	+6.5%
金型部品事業	75,108	83,739	+11.5%	+0.2%
VONA事業	171,799	184,266	+7.3%	+1.8%

15

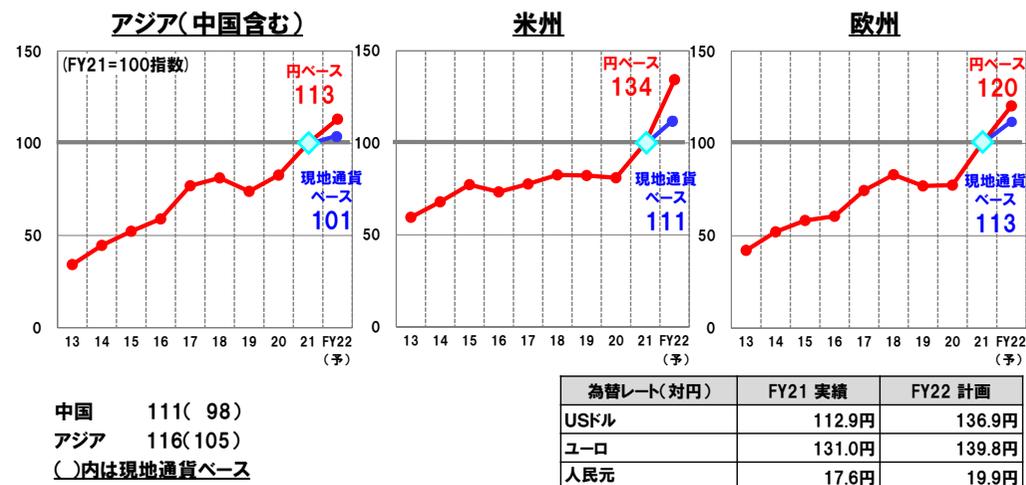
22年度 日本・海外売上高

日本 自動車関連をはじめ需要回復が弱く前年並み
 海外 米・欧は日・中・亜と比べ、相対的に堅調
 結果、海外比率は56.0%、前年比+3.9pt



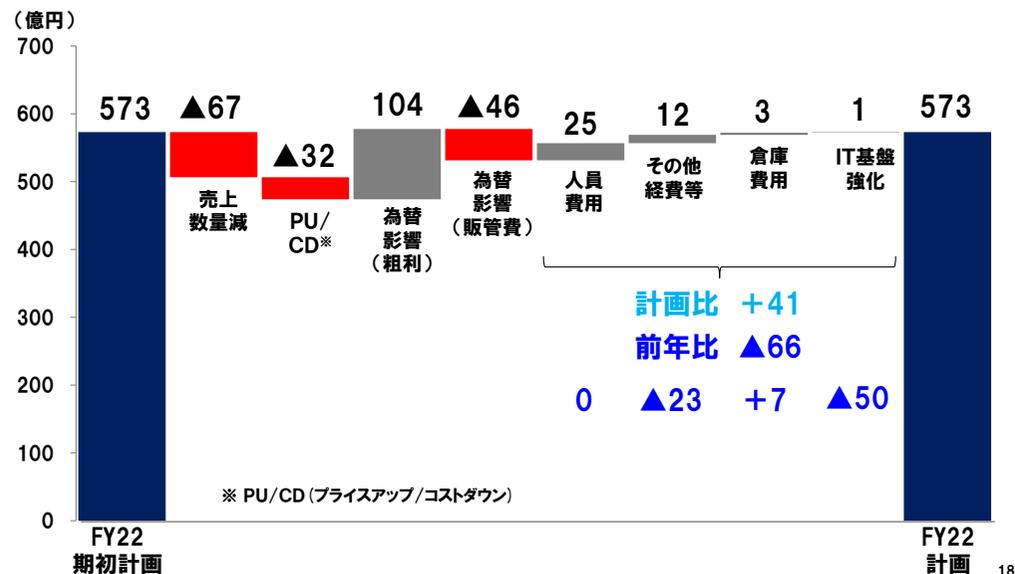
22年度 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中:「攻め」継続も市況回復途上 亜:量産工場攻略で成長
 米・欧 EVを軸に拡大する需要獲得+物流・医療等への浸透継続



22年度 営業利益増減分析(計画比)

上期比で原材料などのコスト増を見込むも、費用抑制でカバー
 販管費は計画比抑制も、モデル革新の加速費用は従来通り織り込む



株主還元

22年度上期配当は17.80円で前年同期比0.53円減
 年間配当は36.94円、前年比3.90円増、過去最高更新を見込む



まとめ

持続的成長に向け、強靱な経営体質維持＋地域モデル革新加速

